

「ビラ撒き損の」

—初稿—

2026/07/22

しのめ ののの

〈人物表〉

柴咲 友奈

(20)

アルバイター

柿田 章一

(37)

イベント会社の社員

1. ショッピングモール・外観（昼）

真夏の晴天。セミが鳴いている。
一般的な大型ショッピングモールがあり、周囲は人や車で賑わっている。

2. ショッピングモール内・特設会場（昼）

ショッピングコートとは区切られたイベント会場。
青っぽくライトアップされた、涼しげな空間。
親子連れが2組だけ訪れており、大きな光るボールで遊んだり、お絵描きや色塗りなどをしている。
会場にはスタッフTシャツを着た若者が数人。受付をしている者や、親子連れの相手をしている者など。
スタッフTシャツを着た柴咲友奈（20）、笑顔で子どもを相手している。
一人の男性スタッフが、汗だくで会場へ入ってくる。
手には当該イベントの宣伝用ビラが数枚。
スタッフ、スーツを着た柿田章一（37）のもとへ。
スタッフ「ビラ配り、戻りました」
柿田、腕時計を見る。

12時過ぎを指している。

柿田 「あーもうそんな時間か。余っちゃった？」
スタッフ 「そうですね……すいません」

柿田 「まあ皆こんなもんだから。じゃあ次……そのキミ」と、友奈へ声を掛ける。

柿田 「交代。次行ってきた」

友奈 「はい」

柿田 「1時間経ったら帰ってきて。もしくは……一束全部、配り終えたら」

友奈 「わかりました」

3. ショッピングモール・外（昼）

友奈がモールを出た瞬間、灼熱の太陽が照りつける。
セミが鳴いている。
友奈、暑さに思わず顔をしかめる。

日陰になつてゐる場所へ移動。
ビラの束を手に、配り始める。

友奈 「特設会場でイベントやつてまーす。よろしければ是非…
…特設会場でイベントやつてまーす。よろしければ…」

友奈、親子連れを狙って配ろうとするが、スルーされてしまう。

何度かそれを繰り返した後、一旦配るのをやめる。

腕時計を見ると、12時20分。

友奈 「あと40分も……」

友奈、来場者の動線に背を向けて俯き、考え込む。
首筋に大粒の汗が流れる。

周囲から、複数の親子の会話が聞こえてくる。

親1 「ゆうくん、暑いから帽子かぶりなー」

親2 「ひまりー、お水飲まないの？ 熱中症なるよー」

うるさく鳴いていたセミの声が突然やみ、一瞬の静寂が訪れる。

友奈、ひらめいた表情。

気を取り直して動線に向き直る。

向こうから新たな親子連れがやってくる。

友奈、のどの調子を整えてから笑顔を作る。

友奈 「お子さんと一緒に、涼みに来てください」

とゆっくり言いながら、ビラを差し出す。

「お子さん」という言葉に思わず反応した親、流れでビラを受け取る。紙面を一瞥し、会釈して去る。

友奈 「よし……」

友奈、手応えを感じる。

同じ方法でビラ配りを始める。

汗だくになりつつも、笑顔。

受け取ってもらえる頻度が徐々に上がっていく。
ビラがどんどん減り、最後の一枚を配り終える。

腕時計を見ると、12時50分。

友奈 「よっしゃあ」

友奈、ショッピングモールの中へ戻っていく。

4. ショッピングモール内・特設会場（昼）

友奈、汗だくでイベント会場へ戻って来る。
先ほどよりも親子連れが増えている。

友奈、柿田のもとへ向かう。

友奈に気づいた柿田、腕時計を見る。

柿田 「あれ、どうしたの？ もしかして体調不良……？」

友奈 「いえ。全部配り終えました」

柿田 「え、ほんとに？」

と驚いてから、おもむろに会場を見渡す。

柿田 「ああ……だからかな？ 人が増えたの」

柿田、徐々に笑顔になる。

柿田 「いや……すごいね。配りきれた人、初めてだよ」

友奈 「本当ですか。ありがとうございます」

柿田 「お昼休憩まだだよ？ とりあえず行ってきて」

友奈 「失礼します」

と、頭を下げたその場を離れる。

5. ショッピングモール内・フードコート（昼）

友奈、フードコートの端席で冷やしうどんを食べている。非常に幸せそうな笑顔。

6. ショッピングモール内・特設会場（昼）

昼食を終えた友奈、イベント会場へ戻ってくる。

柿田、別のスーツ女性とこそこそ話している。

友奈、受付をしているスタッフに話しかける。

友奈 「お疲れ様です。次、受付担当します」

受付スタッフ、頷いて立ち上がろうとする。

と、柿田が友奈に話しかけてくる。

柿田 「ごめん、そのあなた」

友奈 「？ はい」

柿田 「悪いんだけど、14時からまたビラ撒き行ってくれない？」

友奈 「えっ？」

柿田 「持ち場はローテーションって言ったのに申し訳ないんだ

けど。次の子が体調悪いみたいでさ」

友奈 「はあ……」

柿田 「しんどくなったら帰ってきて良いから。ね？」

友奈 「……わかりました」

7. ショッピングモール・外（昼）

友奈、灼熱の中でビラを配り続けている。

汗が大量に吹き出ている。

向こうから、一組の親子が揉めつつ近づいてくる。

子ども 「ねーもうやだー。あーづーいー」

親3 「だから早くお店入ろうって」

子ども 「帰りたいー」

友奈 「お子さんと一緒に、涼みに来て……」

と、最後の一枚を渡す。

親は苦笑いで片手間に受け取り、去る。

友奈、親子を見送ってから腕時計を見る。

14時40分。

8. ショッピングモール内・特設会場（昼）

友奈、汗だくでダラダラと戻ってくる。

親子連れで非常に賑わっている。

柿田、笑顔で迎える。

柿田 「また速かったねー。流石」

友奈 「ありがとうございます……」

柿田 「ちよつと休憩して。ほら」

と、友奈にペットボトル飲料を差し出す。

友奈、会釈して勢いよく飲む。

柿田 「あの一、本当に申し訳ないんだけど……この後、ビラ撒

き専任にしても良い？」

友奈 「えっ……？」

水分補給していた友奈、思わずむせそうになる。

飲むのをやめ、会場を見回す。

他のスタッフ達、皆涼しげに悠々と仕事している。

友奈 「でも、最初にローテーションだって……」

柿田 「いやあなた、圧倒的に配るの速いからさ……ほら、15時過ぎまで休憩してて良いから」

友奈 「いや、でも……」

柿田 「派遣元には評価Sで伝えとくからさ。えーっと……名前なんだっけ？」

友奈 「柴咲です……」

柿田 「柴咲さんね。じゃあ、よろしくね。でも無理だけはしないで」

友奈 「……。はい……」

9. ショッピングモール内・ベンチ（昼）

友奈、野外に出る手前の屋内ベンチに腰掛けている。
おもむろに靴を脱ぎ、足の裏を見る。
可愛い柄の靴下に、穴が空いている。
友奈、悲しげにため息を吐く。

10. ショッピングモール・外（昼）

友奈、死んだ目でビラ配りをしている。

友奈 「お子さんと一緒に、よろしければ……」

と言いながら渡そうとしたところ、相手がやんわりと拒否する。

通行人「あ、さっき貰ったので……」

友奈 「そうでしたか……失礼しまし……」

友奈、突然ふらついてしゃがみ込む。

通行人「え、大丈夫ですか……？ あの……誰か……！」

通行人の声が遠くなる。

11. ショッピングモール・救護室（昼）

友奈、ゆっくりと目を開ける。

救護室の簡易ベッドに寝かされている。

慌てた様子で、柿田が入って来る。

柿田 「ごめんねー。大丈夫？ 話せる？」

友奈 「はい……気絶した訳ではないので……」

柿田 「それは良かった……えーっと、柴田さんだっけ？ 無理

しないで良かったのに……」

友奈 「……」

柿田 「落ち着いたら帰って良いよ。勤務時間はフルで付けとくから……」

と、忙しなく喋り続ける。

12. ショッピングモール・救護室の外（昼）

数十分後。

荷物を持った友奈、救護室の外に出てくる。

室内に向かって頭を下げ、ゆっくりと歩き出す。

ある程度回復しているものの、本調子ではない様子。と、少し離れた場所から子どもの声。

子ども（声） 「さっきのやつ、楽しかったー」

友奈が目を見向けると、先ほど揉めていた親子連れが歩いている。

子どもの手には、友奈が配っていたビラ。

親3 「ねー、よかったね」

子ども 「明日もやるかなー？」

親3 「明日は来れないよ」

子ども 「えー。行こうよ行こうよー」

親子連れ、賑やかに去っていく。

友奈、ふっと笑顔になり、親子に背を向けて去る。

おわり